

超小型変形型月面ロボット

SORA-Qソラキュー開発秘話

創業から100年、葛飾の地でアソビを追求してきたおもちゃ会社が宇宙を目指した訳を解説します。

SORA-Qの操縦体験も行います（希望者のみ・当日抽選）。



クレジット：JAXA/タカラトミー/ソニーグループ(株)/同志社大学

【日時】令和7年 **1月12日**（日）午後2時～4時

【会場】青戸地区センター 4Fホール（青戸5-20-6）* 駐車場はありません

【対象】葛飾区在住・在勤・在学の小学生以上の方（小中学生は保護者同伴）

【定員】100人（多数抽選）

【講師】赤木謙介氏（株式会社タカラトミー SORA-Q プロジェクトリーダー）

【費用】無料



※状況により、講座内容を変更または中止する場合があります。



SORA-Qが月面から地球に送信した奇跡の一枚

【申込方法】

オンライン申請かハガキで、①「SORA-Q」②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢
⑤電話番号 ⑥操縦体験の希望有無 を記入して、12月19日(木)(必着)まで
(多数抽選)。

* 入場は事前申し込みを行った方のみとなります。

* 小中学生は保護者同伴/葛飾区在住・在勤・在学の方が対象です。

【お申し込み・問い合わせ先】

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 葛飾区役所生涯学習課
TEL 03-5654-8475



オンライン申請は
こちらから

SORA-Qとは

JAXA、タカラトミー、ソニーグループ、同志社大学の共同開発によって生まれた、超小型の変形型月面ロボット。玩具開発によって培われた技術によって変形機構および超小型・超軽量を実現しました。

SORA-Qは月着陸実証機SLIMから球体のまま放出され、月面に着陸すると変形を開始し、走行可能な月面ロボットへとその姿を変えます。SORA-Qは月面を走行し、搭載されたカメラでSLIMや周囲を撮影します。そして、ミッションを終えると挙動を停止して月に残ります。

JAXAの「宇宙探査イノベーションハブ」研究提案公募の枠組みの下、2016年からJAXAおよびタカラトミーが共同研究を開始し、その後、2019年にソニーグループが、2021年に同志社大学が加わり、4者で共同開発を進めてまいりました。

2024年1月20日、SLIMは見事月面着陸に成功、SORA-QはそのSLIMが月面着陸した姿をおさめた画像の撮影に成功し、世界最小の月面探査ロボットになりました(2024年1月25日 JAXA調べ)。

企画・運営 かつしか区民大学区民運営委員会